



JIS マーク表示制度認証授与式（4月22日）

第20回 JIS 製品認証業務判定委員会において、(株)トミスに関する初回認証判定について、適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第24回 IWA 日本国内委員会（4月23日）

2011年 IWA-ASPIRE 会議の開催について、準備スケジュール案、組織運営構成案について検討し承認された。次に、次期 IWA 副会長選挙には立候補をせず役員会メンバーを推薦する事が承認された。また、IWA 賢人会（CDWP）へ松井三郎京都大学名誉教授を推薦する事が承認された。

続いて大垣眞一郎東大教授が IWA 役員会議（2008/1/30～31、4/18）について概略を報告した。IWA 各賞の公募案内に関する報告があり、渡辺義公北海道大学教授が、水分野への顕著な貢献を称える賞である Award for Outstanding Contribution to Water Management and Science に推薦されていること、また革新的なプロジェクトを表彰する Project Innovation Awards に東京都水道局と横浜市水道局が応募していることが報告された。2008年 IWA 世界水会議（ウィーン）の展示会でジャパン・パビリオンが設置されることが報告された。

最後に IWA 国内委員会の委員交代について承認された。

第26回水道 GLP 認定委員会（4月24日）

新潟市水道局（認定番号：JWWA-GLP007）について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定検査機関としての認定維持が承認された。

第864回会誌編集委員会（4月24日）

はじめに委員長、副委員長の互選を行い、委員長に平田麻布大学教授、副委員長に小泉首都大学東京大学院教授が選任された。

続いて、本誌7月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。



第1回震災対応等特別調査委員会（5月1日）

はじめに、正副委員長の選出を行い、委員長に赤川日本水道協会顧問、副委員長に鈴木東京都水道局総務部長と河谷大阪市水道局工務部長が就任した。

続いて、本委員会のもとに「緊急時の対応に関する小委員会」、「応急給水・応急復旧に関する小委員会」、「耐震化推進方策検討委員会」の3つの小委員会を設置すること、また、「地震等緊急時対応に関する報告書の改訂」、「水道施設の耐震化推進」、「今後のスケジュール」について事務局より説明を行い、それぞれ了承された。



水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会/第3回各論専門委員会（5月2日）

総論専門委員会における検討事項についての報告を総論事務局から、各論ワーキンググループの改訂作業の進捗状況の報告をグループ長から受け、関連部分に関する事項及び今後の作業工程等について確認した。

第620回抄録委員会（5月8日）

本誌平成20年8月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録について審議した。

第3回水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会（5月9日）

議題①「厚生労働省令の改正」、②「指針改訂のポイント」、③「他インフラ分野における指針等改訂の動き」、④「改訂作業の進捗状況」、⑤「経済性照査による合理的な水道施設の事例研究（中間報告）」、⑥「今後のスケジュール」についてそれぞれ事務局より説明を行い、了承された。

続いて、議題⑦「日本水道協会における震災対策に関する活動」（「震災対応等特別調査委員会」の設置）について事務局より報告した後、委員の所属する事業体、団体における耐震化への取り組み・課題等についての意見交換を行った。



第17回水道施設に関する規格専門委員会（5月13日）

JWWA B 120（水道用ソフトシール仕切弁）及びJWWA G 117・118（水道用塗覆装銅管・水道用塗覆装銅管の異形管）の規格改正について、第1回目の審議を行った。

JWWA B 120では耐震継手を規格に盛り込むことなど、またJWWA G 117・118では関連JWWA規格及びJIS規格との整合性を図ることを確認した。

